










オビヌツズマブ療法を受けられる患者さんへ

患者ID:
主治医:

氏名:
担当医:

受持看護師:

	入院日・治療前日	オビヌツズマブ療法当日	オビヌツズマブ療法翌日
目標	治療の必要性、スケジュール、合併症や副作用を理解できる 	点滴のトラブルが起きないように注意を払うことができる 体温、血圧、脈拍などが安定している 次の症状が現れたとき、すぐに知らせることができる ■ オビヌツズマブによるアレルギー症状が現れたとき ■ 点滴刺入部の異常が見られたとき 	体温、血圧、脈拍などが安定している うがい、手洗いなどの感染予防を理解、実施できる 発熱時の対応を理解、実施できる 次の症状が現れたとき、すぐに知らせることができる ■ オビヌツズマブによる副作用が現れたとき
治療		点滴にかかる時間は【初回】4～6時間、【2回目以降】3～4時間程度 	
内服	持参された内服薬は、一旦看護師がお預かりします 内服薬は、入院後に当院から処方されたものを飲んでください 	オビヌツズマブ点滴開始30分前に、消炎鎮痛剤と抗アレルギー剤を内服します 内服時間はお知らせします	
点滴		身体の状態をみながら、オビヌツズマブの速度をあげていきます すべて終了したら抜針します	
検査 観察	血液、胸部レントゲン、心電図などの検査をします 身長、体重を計測します 【10時・19時】 体調に変わりがないか、体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測	オビヌツズマブ点滴中は心電図モニターを装着します 【点滴中は30分毎】 体温・血圧・脈拍、酸素飽和度、副作用アレルギー症状(咳嗽や呼吸困難、皮疹や掻痒感など)、吐き気や嘔吐、寒気、点滴刺入部の異常がないか確認します 【10時・19時】 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測	【10時・19時】 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測 排便の状況を確認します
安静度	制限はありません	<u>点滴中はできる限り安静に過ごしてください</u> 点滴が終了し、体調に問題がなければ制限はありません	制限はありません 体調に合わせて適度な運動を心がけましょう
食事	制限はありません お粥、パンなど希望があれば看護師にご相談ください 既往歴によっては、希望に添えない場合があります 	制限はありません 	
清潔		シャワー浴ができます 	
排泄	便秘などがあれば相談してください	点滴の前にトイレを済ませて下さい 抗癌剤治療により、便秘になることがあります。便の回数や性状を確認しましょう	
説明	担当医師から治療について説明をします 薬剤師から薬について説明をします 抗がん薬曝露について説明をします 	副作用：吐き気、嘔吐 体がだるい、貧血、易出血、皮膚症状(湿疹・かゆみ)、不眠、免疫力の低下 対策： 吐き気止めの薬を使用する 無理せず休む 転ばないようにする 痒み止めの薬を内服する 清潔、保湿に努める 早めに下剤を調整する	治療中のみなさまへ  抗がん剤治療は長期に及びます。長い治療の中で体調が優れない日や、悩んだり、不安な日があると思います。そんなときは1人で抱え込まずに私達スタッフにいつでもお話しください。みなさまのお力になれるように、さまざまな職種のスタッフでサポートさせていただきます。